

---

日付：2004年7月2日

提出元：NTT 東日本

## 題名：保護判定基準見直し提案における目的の明確化について

---

### 1. はじめに

JJ100.01 第3版改訂について、平成16年11月30日を目途に制定することが、前回のSWG会合にて合意された。本寄書では、JJ100.01 第3版改訂に向けた議論を円滑に進めるために、現在提案されている保護判定基準見直しの目的を明確にすることを提案するものである。

### 2. 現在提案されている各検討課題について

現在提案されている各検討課題は、大きく分類すると以下のように分類できる。また、各分類毎に、見直しの考え方に対する提案と、見直しの手法に対する提案がされている。今後、論点を明確にした議論を行うためにも、特に については見直しの考え方に対する議論を行い、見直しの目的を明確にした後に、見直し手法についての議論を行うべきと考える。

保護判定基準の見直しに関する課題

JJ100.01 第2版で、取り扱われていない範囲の盛り込みに関する課題

線路モデル、干渉源、計算方法の見直しに関する課題

### 3. 保護判定基準値の見直しに関する論点

保護判定基準の見直しにおいては、多くの提案がされている。しかし、これらの提案の多くが、現在の保護判定基準に比べて過剰防衛な基準案であり、今後の新規システムの導入を阻害するものであると弊社は考える。まずは、保護判定基準の見直しの必要性について、以下の議論を行うことを提案する。

JJ100.01 第2版の保護判定基準は、各会員企業が提案する「既存ユーザに対する影響」を判断する基準として、どこが適していないのか。既存ユーザの定義、適していないことの理由を明確にし、会員間の意識を合わせた後に、 の新たな基準に関する議論を進める。

クラス A 回線に対する漏話の許容範囲について、新たな基準の作成が必要か、また、新たな基準については、JJ100.01 第2版の保護判定基準に比べて何が良くなるのか、理由を明確にし、会員間の意識を合わせる。

以上